

「みえ松阪マラソン」の支援



での一般質問

【質問】 マラソン大会は開催都市に多大な経済波及効果をもたらしている。現在フルマラソンを実施していないのは、福井県と三重県だけであったが、令和二年十二月二十日に、松阪市で、開催することが決定した。「三重とこわか大会」の開催記

念大会として、協議する「みえ松阪マラソン」について、名誉会長に就任された、鈴木知事の所見を伺う。

鈴木知事

三重県の魅力発信のためにも、県内外から訪れる多くの方々に三重の自然、歴史・文化、食などの魅力に加え、「三重とこわか

国体・三重とこわか大会」の情報発信も含め、オール三重に直接触れていただける貴重な機会としたいと考えている。今後も松阪市の取り組みに全面的に支援していきたい。

三重県の外来種対策



オオクチバス



コクチバス



ブルーギル



ミシシッピアカミミガメ

【質問】 在来生物種が絶滅、若しくは絶滅危惧に追いやられてる原因の一つに外来種問題がある。県内でも、ブラックスバス、ブルーギル、ミシシッピアカミ

【要望】 「三重とこわか大会」のPRを兼ねたステイックバルーン等で、観衆の皆さんと大会を盛り上げるとともに、財政面の支援やランナー及び観衆の安全確保、交通規制、コースの路面整備をお願いしたい。

ミガメ等の侵略的外来種が数多く生息している。生物多様性を維持するため、県の外来種対策について伺う。

農林水産部長

「入れない・捨てない・拡げない」等の三原則の啓発や情報提供を行っている。今後も、国や市町と連携し、生態系に影響を与える特定外来生物等へ理解促進に努めるとともに駆除への支援を行っていく。

【質問】 松阪市では、侵略的外来種のジャンボタニシの生息範囲が年々

々広がり、水稲被害が昨年の五倍に拡大している。県内の被害状況と対策について伺う。

農林水産部長

県内の二百三十六の調査地点のうち、約一割の二十三点で被害が確認されている。被害対策としては、被害を抑制するための水管理、薬剤による防除、排水路などに産み付けられた卵の除去等への普及啓発に取り組んでいる。

【要望】 啓発ばかりで、外来種が減っているという形跡が感じられない。外来種が減少するような対策に取り組んでいただきたい。

